様式－１

別添２

「道路トンネル点検記録作成支援ロボット技術」

申請書

平成　　年　　月　　日

国土交通省 北陸地方整備局長　殿

応募者名：

印

所在地：〒

電話：

*（応募者が複数の場合は、以下同様に列記する*

*※代表者を最上位に記載）*

下記の技術を「道路トンネル点検記録作成支援ロボット技術」として応募します。

記

　ふりがな

１．技術名称：

　　 （副題）：

２．窓口担当者（選定結果通知先等）

法人名：

所属：

役職・氏名：

所在地：〒

電話：　 ＦＡＸ：

E-Mail：

*（応募者が複数の場合は、応募者毎に窓口担当者１名を以下同様に列記する。その場合、最初に記載した窓口担当者を代表窓口担当者（選定結果通知先）とする。また、応募者が複数の場合でも、選定結果の通知は、代表窓口担当者宛にまとめて送付する。）*

３．共同開発者

共同開発者名：

部署：

役職・担当者：

所在地：〒

電話：　 ＦＡＸ：

*（共同開発者が複数の場合は、以下同様に列記する。）*

様式－２

技　術　概　要　書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 公募テーマ名 | | 道路トンネル点検記録作成支援ロボット技術 | | | | | | | |
| ふりがな  技術名称（副題） | |  | | | | | | | |
| 技術の概要  （200字以内） | |  | | | | | | | |
| 技術の詳細  （箇条書きまたは参照資料番号・頁を記入）  （ポイント箇条書き） | | 1. 応募技術の特徴 2. 応募技術が画期的な点 3. 応募技術を使用する場合の条件（注意）など 4. 活用の効果 5. 概略費用（外業費用、内業費用、その他）※使用機器の経費、人件費等の内訳を添付のこと。 | | | | | | | |
| 1. 特許等取得状況 | | 特許 | □有り　　　□出願中　　　□出願予定　　　□無し | | | | 取得年 | 年 | |
| 実用新案 |  | | | | 取得年 | 年 | |
| 1. 建設技術審査証明等 | | 制度の名称 |  | 証明機関 | |  | | | |
| 番号 |  | 証明年 | |  | | | |
| 【参考】 | | | | | | | | | |
| ⑧NETIS登録 | | □登録済（登録番号：　　　　　　） | | | □審査中または受理（技術事務所名：　　　　　　　） | | | | □未登録 |
| ⑨表彰経歴  □有り　□無し | | 表彰制度名：  受賞名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　受賞年度： | | | | | | | |
| ⑩施工実績 | | 国土交通省　：　　　　件　　　その他公共機関　：　　　　件　　　民間：　　　　件  *施工実績のある場合は様式－４　施工実績内訳書に記入すること* | | | | | | | |
| 【⑪添付資料一覧】  添付資料－１  添付資料－２  添付資料－３  添付資料－４  添付資料－５  【留意事項】 | 様式以外の添付資料の一覧を記入  *（パンフレット：作成している場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）*  *（特許等の公開・公告された写し：特許権等の取得状況が該当する場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）*  *※１　特許等の公開・公告された写しの資料については、公開特許公報のフロントページ（特許番号、発明の名称が記載されているページ）のみとして下さい。*  *※２　特許の数が多く、１０枚に収まらない場合は、応募した技術の中で重要度の高いものについて添付して下さい。*  *（公的機関の審査・評価等の写し：評価等が該当する場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）*  *（表彰経歴：経歴がある場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）*  *（技術検証資料：公募テーマ詳細内容の応募技術毎に応募者が技術検証した資料）*  *①添付資料については、各１０枚を上限に収まるように要約して作成して下さい。*  *②「添付資料１～ ５」の中で該当する添付資料が無い場合は、添付資料番号を繰り上げないで下さい。その他の添付資料については「添付資料ー６」から添付資料番号をつけて下さい。* | | | | | | | | |

※この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。

様式―３

技　術　提　案　書

※選択肢がある場合はあてはまるものに○を付けて下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 応募者名： | | 技術名（商品名）： | |
| 公募において  求める技術内容 | 応募技術の内容 | | 根拠が記載された資料番号・頁を記入 |
| (１)現場適用性 | ○トンネル点検実施後、コンクリート壁面の変状の情報を記録するための支援技術として、応募技術が有している機能（適用条件）について、記載してください。  ①通行規制を伴う作業の有無を記入してください。  ・規制なしで可能  ・規制が必要な作業がある（作業内容　　　　　　　　）  ②応募技術が適用可能な条件に○を付けて下さい。  ・記録範囲（トンネルアーチ部、側壁部、路肩、路面、坑門）  ・断面形状（馬蹄型、矩形）  ・トンネル内空幅（制限無し、制限あり（　　～　 ｍ））  ・変状種類（圧ざ･ひび割れ、うき･はく離、鋼材腐食、漏水等）  ③走行しながら、ひび割れなど変状の画像データが取得できる。  （　可（データ取得時の走行速度：　　　　km/h）、　不可　）  （判読可能な画像の申請レベル　：　レベル１ or レベル２ ）  【上記でレベル２と申請した場合】  ③-1変状写真の自動整理機能を有する。（　可、一部可、不可）  ※可あるいは一部可の場合、具体的な機能を記入してください。  （　　　　　　　　　　　　　　　）  ③-2変状展開図の自動作成機能を有する。（　可、一部可、不可）  ※可あるいは一部可の場合、具体的な機能を記入してください。  （　　　　　　　　　　　　　　　）  ④機器・装置の搭載車両について、記入してください。  （汎用車両に搭載可能、専用車両に搭載）  ・車両規模（普通乗用車、トラック　　ｔ級）  ⑤機器・装置の取扱い資格等の要否について、記入してください。  （資格等は不要、取扱い資格等が必要）  ※取扱い資格等が必要な場合、その内容を記入してください。  （　　　　　　　　　　　　　）  ⑥応募技術の運用上、上記項目以外に制約条件がある場合、具体的な内容を記入してください。（　　　　　　　　　　　　　　）  ⑦その他、応募技術の有している機能について、説明を希望される点があれば、資料を添付してください。 | |  |
| (２)精度 | ○判読可能な画像精度について記載してください。  ①判読可能な最小ひび割れ幅（　　　　　mm）  ②上記①を可能とする機器仕様等について記入してください。  　　　 （　　 　　　　　　　　　　　　　　　　）  ③精度確保に必要な条件等（　　　　　　　　　　　　　　　　） | |  |
| (３)内業効率性 | ○現場作業後に実施される内業について、記載してください。  ①現場点検後から展開画像の提出が可能となるまでの概略日数を記入してください。  〔条件：延長500ｍの2車線道路トンネル2本分として（　　　日）〕  ②展開画像作成における自動化の程度について記入してください。  　（完全自動化、一部自動化(内容：　　　　)、全て人力作業） | |  |
| (４)汎用性 | ①任意の点検員による現地作業の可否（可、否(専門の技術者が必須等)）  ②任意の技術者による分析等の可否　（可、否(専門の技術者が必須等)）  ③その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |  |
| **○上記以外で特に提案したい技術性能・特徴があれば、ご自由に記載してください。**  ※頁を追加してもかまいません。 | | |  |

様式―４

施工実績内訳書

*施工実績がある場合は、最新の10件までを記入して下さい*

公募テーマ名：道路トンネル点検記録作成支援ロボット技術　　　　技術名：　　　　　　　　　　　　　　申請者名：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発注者  *（国・地方自治体・民間等）* | 工事等名称 | 施工箇所  *（○○県○○市等）* | 工事等年度  *(平成:H○○)* | 工事等内容  *（実施数量:延長○ｍ、箇所等）* | 備考 |
| 【記入例】  ○○国道事務所 | H○○年度管内トンネル定期点検等業務 | 新潟県○○市ほか | Ｈ２６ | ○○トンネル(500m)、□□トンネル(700m)、△△トンネル(350m)　3箇所 |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

*注１）施工実績がない場合は、「施工実績なし」と記入し、提出して下さい。*

*注２）この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。*

（４）汎用性

・特殊な免許等を必要としない一般土木技術者により運用が可能か記入して下さい。

（２）精度

・応募技術の精度等について記入してください。

（３）内業効率性

・現場でのデータ取得後、内業で展開画像作成にかかる時間、機能について記入してください。

（１）現場適用性

・応募技術の有している機能（適用条件）について、記入してください。

①②通行規制せずに点検データの取得が可能かどうかを記入してください。

③応募技術の適用範囲を記載してください。

④点検調書作成の自動機能について、記入してください。

⑤機器・装置の車両搭載方法について、記入してください。

⑥～⑧応募技術の制約条件、その他、機能の説明で補足等があれば、記入してください。

技術提案書（様式－３）記載例

